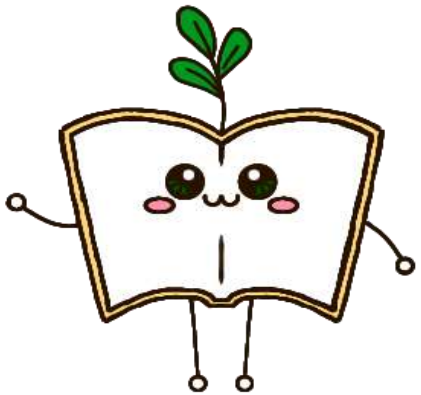
「本」を武器に街を盛り上げる！
～図書委員会による地域文化活性化プロジェクト～



山陽学園高等学校 図書委員会

2026年2月10日（火）

山陽学園中学校・高等学校

生徒数

▶中学　180人
▶高校　740人

▷合計　920人

図書委員会活動紹介

貸出や返却（カウンター業務）

新しい本の貸出準備（装備）

図書委員会活動紹介

新しい本の案内放送

コーナー作り

図書委員会活動紹介

朝の読書

図書委員会活動紹介

読書行事（ビブリオバトル）

図書委員会活動紹介

施設や幼稚園の読み聞かせボランティア（真備町）

図書委員会活動紹介

『ダーティー・ユー』

高嶋哲夫／NHK出版

作家・高嶋哲夫さん

2025年1月26日付

山陽新聞24面

25年(令和7年)1月26日 日曜日 タウン 24

小説映画化へ 山陽学園高協力

いじめテーマに執筆

玉野市出身の作家高嶋哲夫さん(76)=神戸市=がいじめをテーマに執筆し、映画化を目指している小説「ダーティー・ユー」(2000年出版)。現在の高校生の価値観をシナリオに反映させたいと、高嶋さんが1月中旬、山陽学園高(岡山市中区門田屋敷)を訪問、生徒に意見を聞いた。

出版から20年以上がたち、小説で描かれる場面や若者の心情が現代の高校生にどう映るのか、生の声を聞きたいと、高嶋さんが協力を依頼。図書委員が中心になって企画し、有志8人が事前にシナリオの一部や原作を読んで、ワークシートに思いを書き込み、持ち寄った。

高嶋さんを囲んで座った生徒たちは「展開に緩急があり、引き込まれた」「物語に出てくるあだ名でからかういじめ場面に、実際に遭遇したことがあり、リアルだった」などの感想を発表。主人公が作品終盤で、過去に戻る場面については「唐突に場面が変わり、少し分かりにくかった」といった意見も出た。

高嶋さんは「現代の子どもたちでも違和感なく読めると分かり安心した。皆さんの意見を参考に、いじめを根絶できるような思いやりの心を育てる映画を作りたい」と話した。

高嶋さんによると、映画の公開時期は未定だが、制作開始に向けて資金調達やシナリオ作りに着手している。完成後は全国の小中高校で上映したいという。(鈴木総一郎)

小説の映画化に向けて意見を交換する高嶋さん(左から3人目)と生徒ら

高嶋さん(玉野出身)、生徒と意見交換

あらすじ

中学校を舞台に、帰国生の主人公がいじめ被害に苦しむ同級生を助けようと奔走するストーリー。いじめを止めようと積極的に行動する主人公と、問題に巻き込まれることを恐れて何もしない教師やクラスメートが対照的に描かれる。現在は「いじめへの反撃」というタイトルで出版されている。

［夏目漱石の研究活動］

愛媛県

上南公民館での講演会聴講

［夏目漱石の研究活動］

未完『明暗』の続きのストーリーを考える図書館イベント

［夏目漱石の研究活動］

新宿区立図書館

研究活動

▲スウェーデン坂の宣教師館→×

◀石井十次胸像（2007年撮影）→×

研究活動

・図書館を活用して研究し、地域の歴史マップを作る。
・マップには岡山の文学者も取り上げる。
・マップを使った出前講座を開講する。
・書店や公共図書館に足を運んでもらえるような工夫をする。

プロジェクト①：看板設置事業に参加

東山にあった異人館

※写真は『岡山市史（宗教・教育編）』より

異人館があった現在の場所

※2024.12撮影

プロジェクト①

看板設置場所の打ち合わせ

廣告

明治廿一年九月

中學林幹事

明治廿一年九月

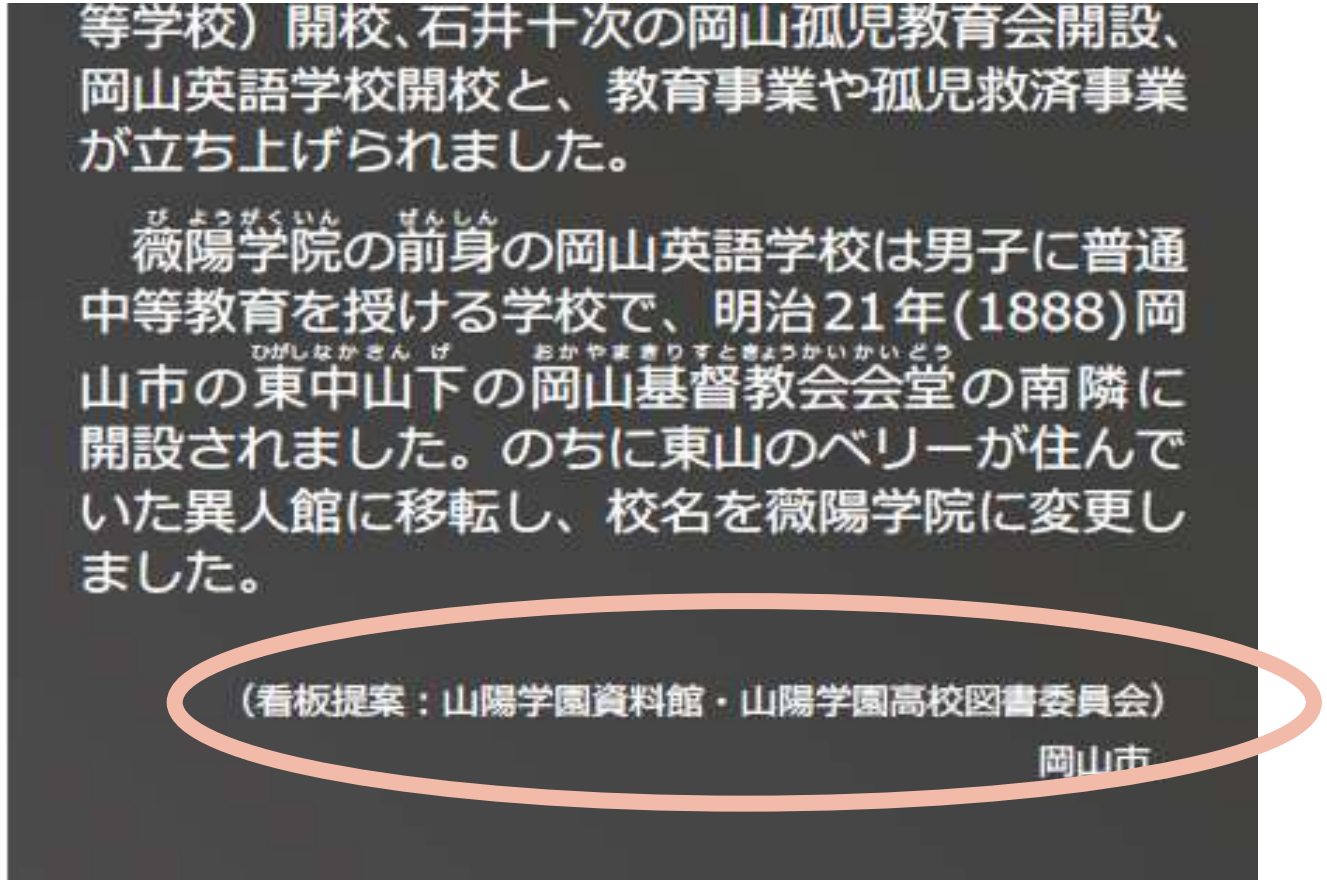
岡山英語學校

明治廿一年九月

岡山育英

山陽新報1888年（岡山県立図書館所蔵）

プロジェクト①



提案「山陽学園高校図書委員会」

プロジェクト②：地域の歴史マップ製作

A,現地調査、史料・資料調査

プロジェクト②

A,現地調査、史料・資料調査

プロジェクト②

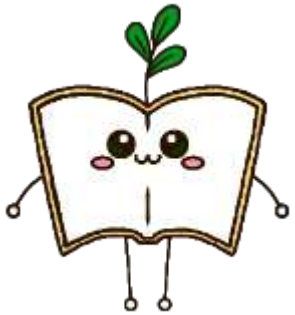
A,現地調査、史料・資料調査

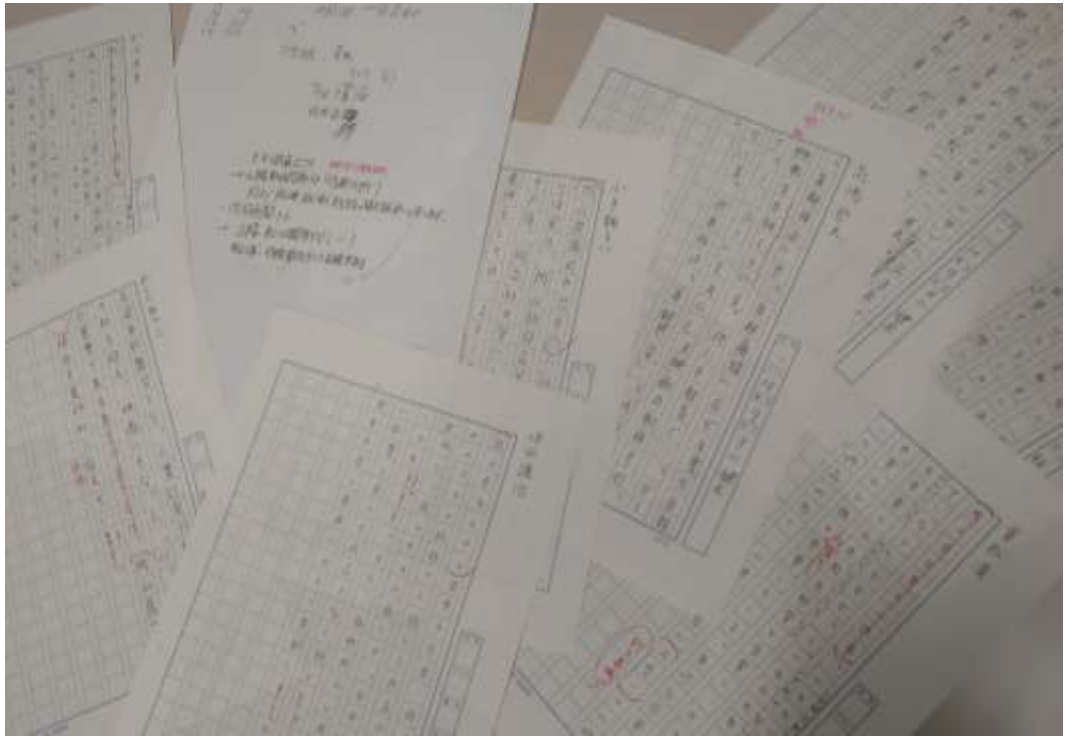
プロジェクト②

B,マップの作図、イラスト、文章など

プロジェクト②

B,マップの作図、イラスト、文章など





文章を練った原稿用紙

プロジェクト②

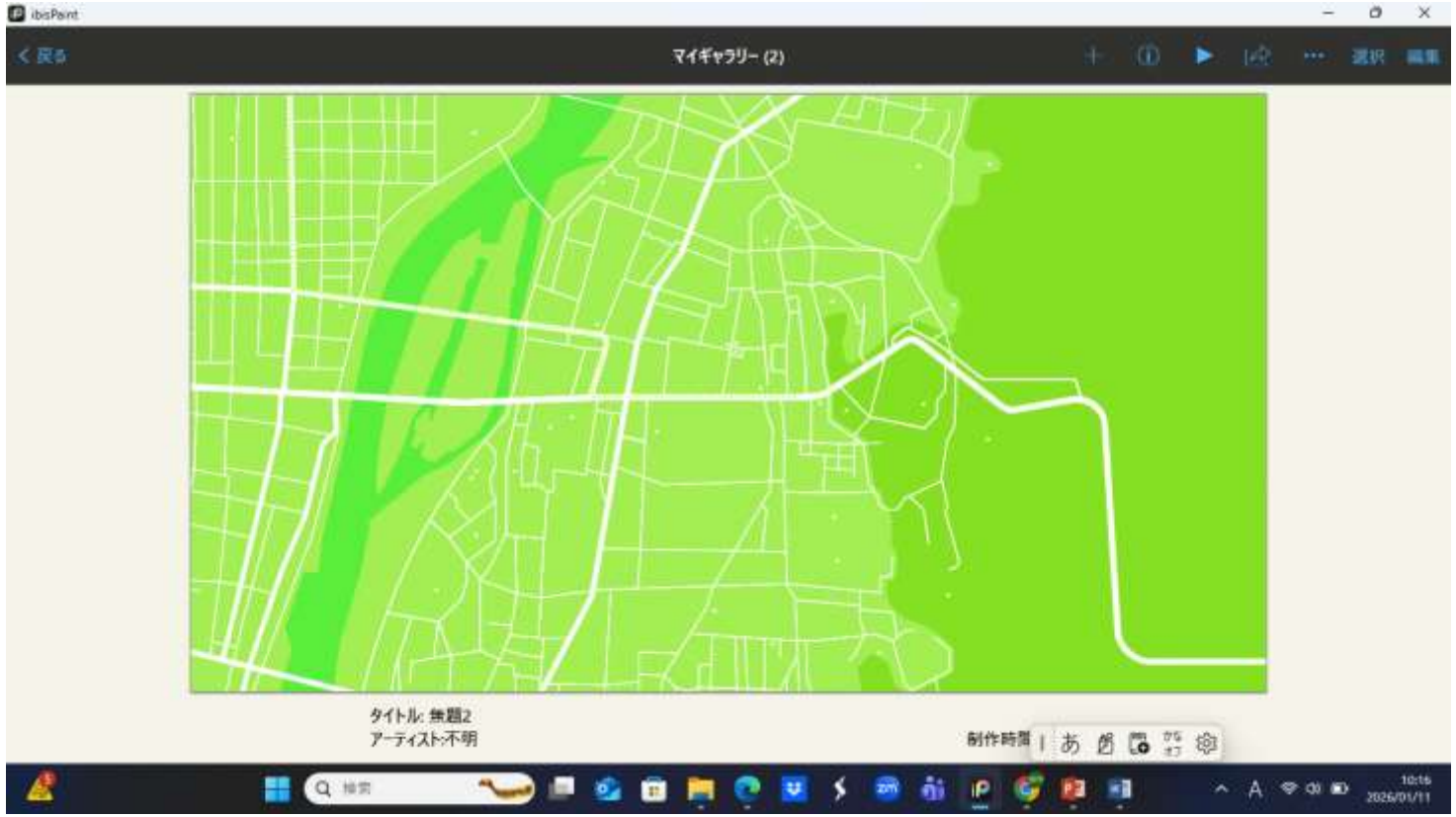
B,マップの作図、イラスト、文章など

プロジェクト②

B,マップの作図、イラスト、文章など

プロジェクト②

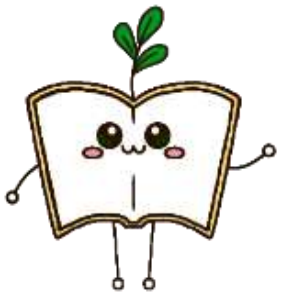
B,マップの作図、イラスト、文章など



プロジェクト②

B,マップの作図、イラスト、文章など

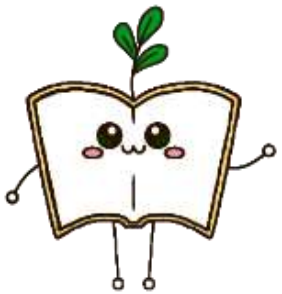
門田屋敷周辺



プロジェクト②

ももたろう観光センター（岡山駅2階）

岡山市立幸町図書館



プロジェクト②

門田界隈 歴史散策を

山陽学園高、岡山市協力で 明治期偉人紹介マップ作製

山陽学園高（岡山市中区門田屋敷）の図書委員会は、明治期に同高周辺で活躍した偉人や旧跡を紹介した散策マップを作った。2026年に創立140年を迎えるのを前に「岡山の近代化の中核を担った門田屋敷界隈の埋もれた歴史にスポットを当てたい」と企画。マップを活用したスタンプラリーや出前講座も計画している。

マップは「かどたワールドおさんぽマップ」（三つ折りA4判、全6頁）。同校がある門田屋敷地区中心の地図に、旧制第六高等学校、石井十次が日本初の孤児施設「岡山孤児院」を開設した三友寺などの場所を示した。地域の歴史や文化資産の由来を記した市の看板「岡山歴史のまちしるべ」の場所（24カ所）も紹介している。

旧制六高と山陽高等女学校生の恋愛小説「心の日月」を執筆した菊池寛（1878年に来岡し「異人館」を拠点に県立病院医学顧問を務めたベリー博士ら宣教師3人▽石破茂首相の曾祖父に当たる岡山基督教会の金森通倫・初代牧師―ら計24人の経歴をイラスト付きで紹介している。

作ったのは新2、3年生の図書委員7人。校内で以前発行された同様のマップを参考に、昨年10月から郷土史本や山陽新報（山陽新聞の前身）を調べ、現場も歩いて3月末に完成させた。

3月25日、同校でお披露目された。3年林由佳さん（17）は「偉人らのつながりが分かるよう解説を工夫した。小学校や公民館で出前講座を開き、風化した歴史を伝承し、文学のまちづくりに貢献したい」と話した。

マップは「ユネスコ創造都市ネットワーク」文学分野の加盟都市となった岡山市が協力し、5000部作製。市役所本庁やJR岡山駅の観光案内所で配布している。（山内悠記子）

門田屋敷界隈の偉人や旧跡を紹介した散策マップ「かどたワールドおさんぽマップ」。岡山市の協力で作製した山陽学園高図書委員会のメンバー

「タウン」はイベントやグルメ、エンタメといった日常を明るく彩るまちなかのコンテンツをお届けします。「y to y」の主役はyouth＝若者たち。そのリアルな表情や声を同世代の記者が伝えます。耳より情報や気になるテーマをお待ちしています！
SNSはQRコードから。メールはtown@sanyonews.jp

2025年4月6日付 山陽新聞26面

マップを使った講座

小学生向けのミニ講座

図書館に隠された偉人を探すゲーム

マップを使った講座

2025.6.21岡山市立操山公民館

マップを使った講座

紹介動画づくり

放送室でナレーション録音

紹介動画づくり

図書委員会

文化祭の動画視聴コーナー

マップを使った講座

2025.6.21岡山市立操山公民館

マップを使った講座

とても満足・・・15人
満足・・・10人
普通・・・2人
やや不満・・・0人
不満・・・0人

アンケート提出27人/（参加者35人）

マップを使った講座

・かるたで学習の定着につながり、グループの人たちとの交流にもなりよかった。わかりやすい資料、コンテンツ作りありがとうございました。

・知っている場所が多かったが、それが何かは知らないものばかりで、とても勉強になった！

・プレゼン、動画、クイズとさまざまなメニューがあって、飽きることのないプログラムになっていた。

マップを使った講座

石井十次記念館（参加者35人）

全県版

石井十次生誕160年記念

自作かるたで偉業発信

山陽学園高生が出前講座

国内初の孤児施設「岡山孤児院」を創設した石井十次（1865～1914年）の生誕160年を記念し、山陽学園高（岡山市中区門田屋敷）の2年生5人が12日、社会福祉法人「新天地育児院」（岡山市本町）で自作のマップやかるたを披露して先人の偉業を発信した。

三宅紀葉さん（16）ら図書委員は、十次や石破茂首相の曾祖父に当たる岡山基督教会初代牧師・金森通倫ら、明治期に地域で活躍した偉人と史跡を伝える散策マップ「かどたワールドおさんぽマップ」を作成し、出前講座を展開している。

会場では、生徒たちが参加した35人にマップを配り、十次が金森から洗礼を受けてキリスト教を保留した史実や、1887年に孤児院が開設された三友寺には折りをささげた場を示す石碑が立つことなどを紹介した。

参加者は十次や社会活動家中川横太郎らのイラストを描いたかるたにも挑戦。「児童福祉の父」などと生徒が読み上げるのを聞いて絵札を取った。

小野純子さん（23）＝倉敷市庄新町＝は「岡山が誇る歴史を若い世代が楽しく伝承しており素晴らしい」と笑顔で話していた。（山内悠記子）

山陽新聞

2025年7月13日 山陽新聞28面

マップを使った講座

取れた～！

つぼた　じょうじ
坪田　譲治

つぼた　じょうじ
坪田　譲治

石井高等小学校(現在の**石井小学校**)を卒業後、現在の岡山県立図書館のある場所にあった**養忠学校**に入学。早稲田大学を卒業。児童文学振興の功労者であり、代表作は**『風の中の子供』『子供の四季』**など。**岡山市名誉市民**。

つぼた　じょうじ
坪田　譲治

①石井小学校
②岡山市立中央図書館
③養忠学校
④岡山市名誉市民
⑤『子供の四季』

偉人推理かるた

読み札（ヒント）

マップを使った講座

・カルタが楽しくて、参加者同士で話し合いながらできたのが良かった。

・カルタ最高！楽しかった。

・マップと委員さんが実際歩いておられる動画がわかりやすく、良かった。人物カードも良かった。

・動画も現地が分かりやすく伝わる取り組みで、プレゼンテーションの演出的にも面白い。

マップを使った講座

10代・・・0
20代・・・0
30代・・・0
40代・・・1人
50代・・・2人
60代・・・6人
70代・・・9人
80代・・・3人

マップに掲載した偉人　石井十次像

アンケート提出21人/（参加者35人）

マップを使った講座

2025.12.8 実施　散策講座「かどたワールドをお散歩しよう！」

マップを使った講座

2025.12.8 実施　散策講座「かどたワールドをお散歩しよう！」

マップを使った講座

2025.12.8 KSB瀬戸内海放送「さきどり！ニュースパ」「KSBスーパーJチャンネル」

ブルガリア大使の前で英語発表

2025.12.5 実施

ブルガリア大使の前で英語発表

Mrs. Marieta ARABADJIEVA（ブルガリア共和国特命全権大使）

逢沢 一郎 衆議院議員

プロジェクト③

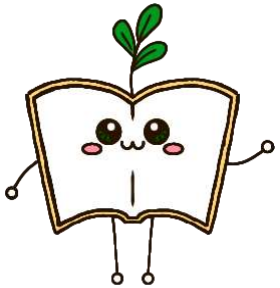
高梁市図書館　上森智子館長にインタビュー

郷土の文芸品を飾るコーナーがある

プロジェクト③

入ってすぐにスターバックスが併設

LEDライトで本を照らす本棚
（LEDは本が日焼けしない）



プロジェクト③：フォトラリー

His story（岡山市北区表町）に掲示

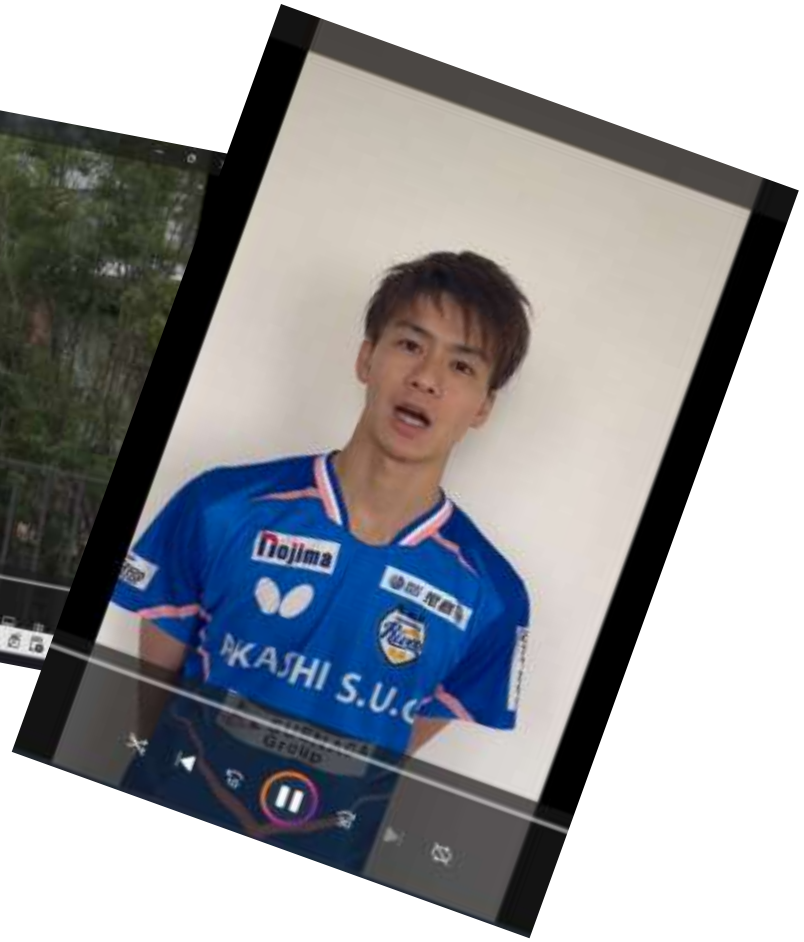
プロジェクト③：フォトラリー

2023年3月12日撮影（山陽学園は展示で参加）

フォトラリー

オリジナルキャラクター「オリー」とその仲間たち

フォトラリー

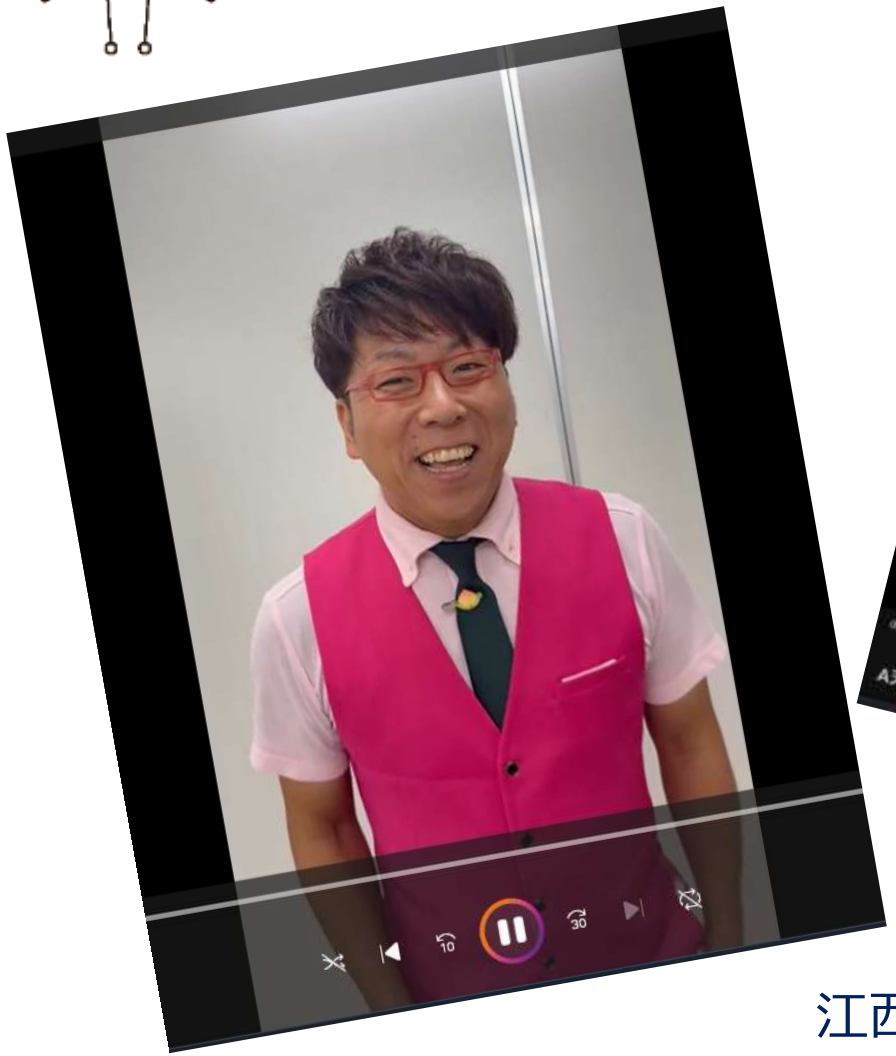


田添響選手（岡山リベッツ）

高嶋哲夫さん（作家）

ハロー植田さん（吉本興業芸人）

フォトラリー



天川栄人さん（作家）

江西あきよしさん（吉本興業芸人）

フォトラリー

2026年1月19日付
読売新聞31面

正夢書房 前（岡山市北区表町）

参加者
発見！

2026年(令和8年)1月19日(月曜日)

図書イベント楽しんで

おかやま文学フェス連携 山陽学園生らPR

本や書店の楽しさを伝えようと、山陽学園高校（岡山市中区）の生徒が企画した「オリーたちと一緒に文学の旅」が18日、岡山市内で始まった。市内のポイントを巡りながら写真を撮って本の魅力を知る参加型イベントで、3月21日まで。

「おかやま文学フェスティバル」（岡山市など主催）の連携事業として同校の図書委員が企画した。正夢書房（岡山市北区）や県立図書館（同）など本にまつわる5か所にポスターを掲示。その中に描かれた同委員作成のオリジナルキャラクター「オリー」などを撮影して集めると、3月20、21日に開催される同フェスティバルのイベントでプレゼントがもらえる。

ポスター内のQRコードを読み取ると、作家の天川栄人さんや高嶋哲夫さんら岡山ゆかりの著名人が、本や書店の魅力を語る動画を見ることもできる。

18日は正夢書房前で同委員の4人が「よかったら参加してください」と呼びかけて通行人にチラシを配り、イベントをPRした。同委員の2年三宅紅葉さん(16)は「本や書店離れが進んでいるが、この企画をきっかけに本屋に足を運んでもらえれば」と話していた。

フォトラリー

正夢書房 前

Her story　前（岡山市北区表町）

フォトラリー

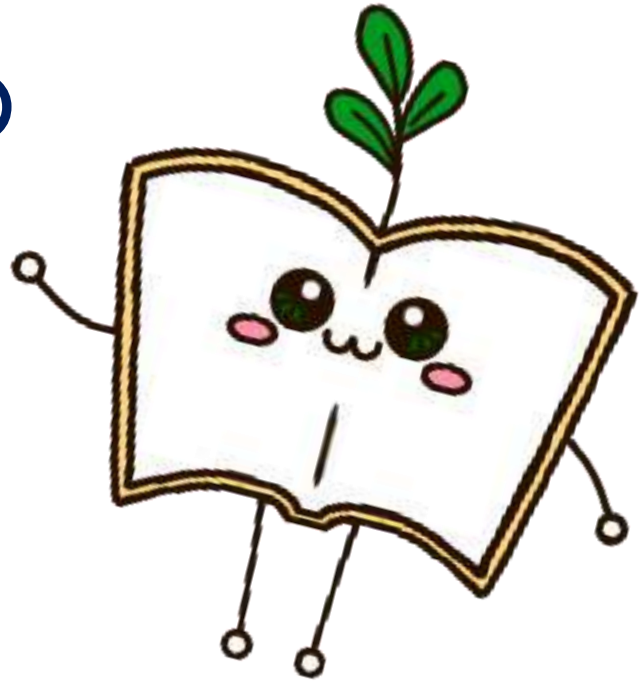
話し合いの様子

おわりに

・本は無限大！

・図書館や書店はただ読書をするだけの場所ではない。

・岡山にあるユニークな図書館や書店を発信していきたい！



①Her story（岡山市北区表町）

かわいい本を集めた書店。写真は併設のブックカフェ。カフェでは読書会、トークショー、タロット占い、シール交換会など様々なイベントを開催！

②岡山県立図書館（岡山市北区丸の内）

蔵書数160万冊。書庫では本をコンテナに乗せ、自動で運んでいる。